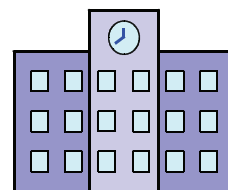


『学校力向上に関する総合実践事業』コーナー その1

前回の学校便りで全体的な概要についてお知らせしましたが、今号から具体的な取組についてお知らせしていきたいと考えます。

今回は、基本的な学習・生活規律（ルール）が学年によって差ができないようにするための全校で統一した『南小スタンダード』（子どもスタンダード・教師スタンダード）の紹介です。



子どもスタンダード（学習）

1. 授業中は鉛筆を使います。
2. チャイムが鳴る前に勉強道具を出します。
3. 名前を呼ばれたら「はい」と返事をします。
4. 発表や音読は大きな声でします。
5. 話し手の方を向いて静かに聞きます。
6. 字はいつもていねいに書きます。

子どもスタンダード（生活）

1. あいさつは自分からします。
2. 廊下や階段は、右側を歩きます。（ホールも走りません）
3. 相手の気持ちを考えて行動します。
4. 机やロッカーはきれいに使います。
5. 仕事は忘れず行います。
6. みんなで使うものを大切にします。

ご覧になってわかる通り、どの項目も本当に基本的な内容ばかりです。しかし、昨年度までを振り返ると、学年によって「守るべきこと」の内容が統一されていなかったり、意外と徹底されていなかったりしていた実態がありました。そこで、1年生から6年生まで通して「守るべき」ことを統一することで、指導に差が生まれないようにすること、低学年のうちから指導を積み重ねていくことで、学習や集団生活における大事なことをしっかりと身に付けさせることをねらっています。

さらに、子どもスタンダードを作ることは、教師の指導スタンダードにもつながります。我々教師も授業等で心がけるべき大事なことを守り、真摯に授業に向かいたいと考えています。全教員の指導を画一化するのではなく、指導の共通項を増やしていくことをねらっています。

教師スタンダード

1. 子どもの名前は「さん」「くん」をつけて呼ぶ。
2. チャイムと同時に授業を始める。
3. 全員が静かになってから話し始める。
4. 丁寧で振り返りやすい板書に心がける。
5. 丁寧で分かりやすい話し方に心がける。
6. チャイムと同時に授業を終わる。

それぞれ項目数は決して多くありませんが、1年間を通して守り続けることは難しいかもしれません。しかし、それぞれのスタンダードが子どもたち一人ひとりのためになることと自覚して、ただのお題目にならないよう、子どもたちにも定期的に振り返りさせながら、継続した指導に努めてまいります。